

「たかまつしんきんの森」で、竹林整備を開始

2月12日に「フォレストマッチング 協働の森づくり」協定を結んだ「たかまつしんきんの森」で、2月14日（土）、高松信用金庫の職員とその家族の皆さん56人が、NPOしおのえの地元ボランティア5人の協力も得て、第1回目の森づくり活動を行いました。

前夜の雨と風が心配されましたが、当日は、雨も上がり、真冬とは思えない暖かい日となり、森づくり活動に最適の天候となりました。



<伐採指導に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん>



<二人一組で作業に取り組む参加者>

参加者は、県、塩江町森林組合職員のサポートを受けて、使い慣れないノコギリを使い、高さが10～20メートル、太さが10センチ前後もある竹の伐採に取り組みました。

長い竹は重く、ひとりが支え、ひとりがノコギリで切り、倒す時は周りに人がいないか十分注意しながら倒していきました。



<協力しながら、倒した長い竹を切る参加者>



<切った竹は、一箇所に運び、棚にします>

密生した竹林は、2時間ほどの活動で、見事に見通しが良くなり、参加者は冬だと言うのに汗だくになりましたが、帰り道、「楽しかった」と言う満足の声があがりました。

また、参加者は、森林組合職員から、「竹林が周辺の森林に広がり、樹木を枯らしたり、また、竹は根が浅いため、保水力の低下や土砂崩壊のおそれがある」など、竹林整備の重要性についても学びました。

高松信用金庫は、3月14日（土）には、今回整備した場所に広葉樹を植林する予定にしており、今年から5年間、活動を続けることにしています。